

第2期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	担い手育成・支援対策事業	NO.	115
担当所属	農林振興課	関連所属	

【事務事業基本情報】

総合計画	章	5.産業	事業期間	令和5年度 ~ 令和7年度
	施策	1.農林業	会計区分	一般会計
	方向性	(1) 農業経営体制の強化	新規事業	
			総合戦略	○

【事業内容】

事業内容	農業関係機関や集落等と調整し、農地中間管理事業の活用による農地集積の促進や「地域計画（旧 人・農地プラン）」の策定を推進し、地域・集落単位による経営体や認定農業者などの担い手の確保及び育成を図ります。
------	--

【事業概要】

目的事業概要 (何のために)	担い手不足の解消 農地の利用集積の促進による農用地の有効活用と経営体の育成
対象 (誰・何を対象として)	認定農業者等大規模経営農家 集落営農組織 環境保全会
手段 (どのようなやり方で)	地域計画（旧 人・農地プラン）の策定推進 法人化及び集落営農の推進 農地中間管理事業等による農地利用集積の推進
成果 (どのような成果を得ようとしているか)	認定農業者など担い手の育成とともに、農地の利用集積の促進や経営規模の拡大を図り、効率の良い生産体制を構築する。環境保全会等の地域のまとまりができる組織を通して、地域計画の作成を推進し、集落営農に向けた意識を高揚させる。

【事業計画】

	R5年度	R6年度	R7年度
事業計画	認定農業者の認定・更新 地域計画（旧 人・農地プラン）策定推進 農地中間管理事業など農地利用集積の推進 耕作放棄地対策	認定農業者の認定・更新 地域計画（旧 人・農地プラン）策定推進 農地中間管理事業など農地利用集積の推進 耕作放棄地対策	認定農業者の認定・更新 地域計画（旧 人・農地プラン）策定推進 農地中間管理事業など農地利用集積の推進 耕作放棄地対策

【評価指標】

	名称	単位	現状値	R5年度	R6年度	R7年度	目標値
成果指標	① 認定農業者数	人	195 (累計) (R3)	215	220	225	225 (累計) (R7)
	② 地域計画策定件数	件	- (累計) (R3)	2	4	6	6 (累計) (R7)
	③						
活動指標	① 地域計画策定に係る集落説明会等回数	件	4 (R3)	4	4	4	4 (R7)
	②						
	③						

【投入コスト】

単位：千円

年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R5~R7年度 合計
事業費	5,518	2,536	1,968	2,008	6,512
一般財源	3,598	0	48	88	136
特定財源	1,920	2,536	1,920	1,920	6,376

第2期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	新規就農者支援対策事業	NO.	116
担当所属	農林振興課	関連所属	

【事務事業基本情報】

総合計画	章	5.産業	事業期間	令和5年度 ~ 令和7年度
	施策	1.農林業	会計区分	一般会計
	方向性	(1) 農業経営体制の強化	新規事業	
			総合戦略	○

【事業内容】

事業内容	新規就農者が早期に安定した経営及び長期営農が行えるよう、県やJAなど農業関係機関と連携し、栽培技術の習得、農地の確保、機械・施設導入の経費等について支援します。
------	--

【事業概要】

目的 事業概要 (何のために)	農業従事者の高齢化による後継者不足の解消 新規就農者の早期の営農安定化
対象 (誰・何を対象として)	農業後継者等新規就農者及び就農希望者
手段 (どのようなやり方で)	県、JAなど農業関係機関と連携し、新規就農希望者の情報共有や就農相談の実施 県経営体育成セミナー等の受講者への補助 新規就農者育成総合対策事業等の支援制度の活用
成果 (どのような成果を得ようとしているか)	新規就農者の育成及び確保を図ることにより、地域農業の持続可能な力強い農業構造を構築する。

【事業計画】

	R5年度	R6年度	R7年度
事業計画	新規就農者育成事業補助の実施 新規就農者育成総合対策事業等の支援制度のPRと活用 農業関係機関との情報共有や就農相談	新規就農者育成事業補助の実施 新規就農者育成総合対策事業等の支援制度のPRと活用 農業関係機関との情報共有や就農相談	新規就農者育成事業補助の実施 新規就農者育成総合対策事業等の支援制度のPRと活用 農業関係機関との情報共有や就農相談

【評価指標】

		名称	単位	現状値	R5年度	R6年度	R7年度	目標値
成果指標	①	新規就農者数	人	22 (R3)	24	26	28	28 (R7)
	②	育成セミナー・農業大学校受講者数	人	4 (R3)	4	4	4	4 (R7)
	③							
活動指標	①	制度の周知の実施回数	回	1 (R3)	1	1	1	1 (R7)
	②							
	③							

【投入コスト】

単位：千円

年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R5~R7年度合計
事業費	2,320	2,320	2,320	2,020	6,660
一般財源	820	820	970	820	2,610
特定財源	1,500	1,500	1,350	1,200	4,050

第2期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	県営経営体育成基盤整備事業（大鳥居地区）	NO.	117
担当所属	農林振興課	関連所属	

【事務事業基本情報】

総合計画	章	5. 産業	事業期間	令和5年度 ~ 令和7年度
	施策	1. 農林業	会計区分	一般会計
	方向性	(1) 農業経営体制の強化	新規事業	○
			総合戦略	

【事業内容】

事業内容	農業経営の合理化を図るため、ほ場の区画形質の改善や乾田化、農道整備、用排水整備等、生産性の高いほ場整備を行うとともに、担い手の育成や農地の集積を促進します。
------	--

【事業概要】

目的事業概要 (何のために)	本地区は水田区画が小さいことや湿田であることから、大型の農業機械を使用することができず効率の悪い農業を行っている。また農道の幅員も狭いことや用水路も未整備のために耕作者から、ほ場整備を実施したいとの強い要望があったため事業の導入を進めている。
対象 (誰・何を対象として)	ほ場整備対象区域は、小櫃川左岸に展開する区域41.2ha、受益者数53人
手段 (どのようなやり方で)	ほ場の区画形質の改善及び乾田化、農道整備、用排水整備等生産性の高いほ場整備を行うとともに、併せて担い手の育成や農地の集積を促進し、農業経営の合理化を図る。
成果 (どのような成果を得ようとしているか)	担い手による農地利用集積を進め農業所得の向上を図る。 用水の安定供給確保。 暗渠及び専用排水路整備による区域内ほ場の乾田化。 農道の拡幅による農業生産活動の安定及び効率化。

【事業計画】

	R5年度	R6年度	R7年度
事業計画	県営工事負担金（測量・実施設計）	県営工事負担金（換地計画原案・実施設計）	県営工事負担金（区画整理工事6.1ha）

【評価指標】

	名称	単位	現状値	R5年度	R6年度	R7年度	目標値
成果指標	① 整備面積	ha	0 (R3)	0.0	0.0	6.1	41.2 (R12)
	②						
	③						
活動指標	① 市負担金交付率	%	1.0 (R3)	5.0	5.0	15.0	100 (R12)
	②						
	③						

【投入コスト】

単位：千円

年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R5～R7年度 合計
事業費	572	4,200	2,100	20,000	26,300
一般財源	572	4,200	2,100	20,000	26,300
特定財源	0	0	0	0	0

第2期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	県営経営体育成基盤整備事業（武田川下流地区）	NO.	118
担当所属	農林振興課	関連所属	

【事務事業基本情報】

総合計画	章	5.産業	事業期間	令和5年度～令和7年度
	施策	1.農林業	会計区分	一般会計
	方向性	(1)農業経営体制の強化	新規事業	
			総合戦略	○

【事業内容】

事業内容	農業経営の合理化を図るため、ほ場の区画形質の改善や乾田化、農道整備、用排水整備等、生産性の高いほ場整備を行うとともに、担い手の育成や農地の集積を促進します。
------	--

【事業概要】

目的事業概要 (何のために)	本地区は水田区画が小さいことや湿田であることから、大型の農業機械を使用することができず効率の悪い農業を行っている。また農道の幅員も狭いことや用水路も未整備のために耕作者から、ほ場整備を実施したいとの強い要望があったため事業の導入を進めている。
対象 (誰・何を対象として)	ほ場整備対象区域は、小櫃川、武田川、千葉鴨川バイパスに囲まれた、袖ヶ浦市、木更津市に跨る区域106.4ha（うち袖ヶ浦受益約70ha）、受益者数149人
手段 (どのようなやり方で)	ほ場の区画形質の改善及び乾田化、農道整備、頭首工の改修、用排水整備等生産性の高いほ場整備を行うとともに、併せて担い手の育成や農地の集積を促進し、農業経営の合理化を図る。
成果 (どのような成果を得ようとしているか)	担い手による農地利用集積を進め農業所得の向上、頭首工改修による用水の安定供給確保、暗渠や専用排水路整備による区域内ほ場の乾田化、農道の拡幅による農業生産活動の安定及び効率化を図る。

【事業計画】

	R5年度	R6年度	R7年度
事業計画	換地	換地、小花頭首工改修工事（実施設計）	小花頭首工改修工事（工事）

【評価指標】

	名称	単位	現状値	R5年度	R6年度	R7年度	目標値
成果指標	① 小花頭首工改修工事	%	0 (R3)	0.0	20.0	60.0	100 (R8)
	②						
	③						
活動指標	① 市負担金交付率	%	90.0 (R3)	92.5	95.0	97.5	100 (R8)
	②						
	③						

【投入コスト】

単位：千円

年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R5～R7年度 合計
事業費	7,127	1,575	5,883	12,000	19,458
一般財源	6,379	1,575	5,883	12,000	19,458
特定財源	748	0	0	0	0

第2期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	土地改良推進事業	NO.	119
担当所属	農林振興課	関連所属	

【事務事業基本情報】

総合計画	章	5.産業	事業期間	令和5年度 ~ 令和7年度
	施策	1.農林業	会計区分	一般会計
	方向性	(1) 農業経営体制の強化	新規事業	
			総合戦略	○

【事業内容】

事業内容	農地の大区画化や汎用化、農業水利施設の長寿命化やパイプライン化・ICT化等の整備を行い、農地中間管理機構による担い手への農地集積・集約化や農業の高付加価値化、高収益作物の導入、水利用の効率化・水管理の省力化等の推進を支援します。
------	--

【事業概要】

目的 事業概要 (何のために)	ほ場の区画形質の改善や乾田化、農道整備、用排水整備等、生産性の高いほ場整備を行う。
対象 (誰・何を対象として)	狭小・不整形、排水不良等の農地、担い手
手段 (どのようなやり方で)	事業化を望む地域の代表と連携しながら説明会等を開くなど、農業者の合意形成に向けた啓発に努めるほか、地元が行う計画調査に対して補助金を交付する。
成果 (どのような成果を得ようとしているか)	担い手による農地利用集積を進め農業所得の向上、用水の安定供給確保、暗渠及び専用排水路整備による区域内ほ場の乾田化、農道の拡幅による農業生産活動の安定及び効率化を図る。

【事業計画】

	R5年度	R6年度	R7年度
事業計画	野里大和田地区 地形図作成業務、説明会等	野里大和田地区 換地等調整業務、説明会等	野里大和田地区 促進計画作成業務、説明会等

【評価指標】

		名称	単位	現状値	R5年度	R6年度	R7年度	目標値
成果指標	①	事業推進地区数	地区	0 (R3)	1	1	1	1 (R9)
	②							
	③							
活動指標	①	地区推進会議等	回	6 (R3)	6	6	6	6 (R7)
	②							
	③							

【投入コスト】

単位：千円

年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R5～R7年度 合計
事業費	783	12,676	15,070	3,070	30,816
一般財源	783	12,676	3,070	3,070	18,816
特定財源	0	0	12,000	0	12,000

第2期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	有害鳥獣駆除事業	NO.	120
担当所属	農林振興課	関連所属	

【事務事業基本情報】

総合計画	章	5.産業	事業期間	令和5年度 ~ 令和7年度
	施策	1.農林業	会計区分	一般会計
	方向性	(2)農地環境対策の推進	新規事業	
			総合戦略	

【事業内容】

事業内容	国等補助事業を活用し、イノシシ・アライグマ等の有害鳥獣の駆除を実施するほか、防護柵等を設置し、農作物被害の防止及び抑制を図ります。
------	---

【事業概要】

目的 事業概要 (何のために)	有害鳥獣による農作物の被害を防止及び抑制する。
対象 (誰・何を対象として)	農業者（農作物生産者）
手段 (どのようなやり方で)	木更津猟友会袖ヶ浦駆除隊等による有害鳥獣の駆除 防護柵、箱わな等の設置による農作物被害の防止 地域ぐるみの有害鳥獣対策講習会開催
成果 (どのような成果を得ようとしているか)	農作物の被害防止及び抑制を図る。

【事業計画】

	R5年度	R6年度	R7年度
事業計画	有害鳥獣の駆除実施 鳥獣被害対策実施隊による捕獲檻の点検管理等の実施 防護柵設置に関する補助の実施 有害鳥獣に関する講習会の実施 捕獲獣の処分や活用を検討 ICT機器の活用の研究	有害鳥獣の駆除実施 鳥獣被害対策実施隊による捕獲檻の点検管理等の実施 防護柵設置に関する補助の実施 有害鳥獣に関する講習会の実施 ICT機器の活用の研究	有害鳥獣の駆除実施 鳥獣被害対策実施隊による捕獲檻の点検管理等の実施 防護柵設置に関する補助の実施 有害鳥獣に関する講習会の実施 ICT機器の活用の研究

【評価指標】

	名称	単位	現状値	R5年度	R6年度	R7年度	目標値
成果指標	① イノシシ捕獲頭数	頭	386 (R3)	500	500	500	500 (R7)
	②						
	③						
活動指標	① 有害鳥獣防護柵設置距離数	m	16,750 (R3)	15,000	15,000	15,000	15,000 (R7)
	② 地域ぐるみの有害鳥獣対策講習会開催地区数	地区	6 (R3)	6	6	6	6 (R7)
	③						

【投入コスト】

単位：千円

年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R5~R7年度 合計
事業費	19,507	17,029	19,507	19,507	56,043
一般財源	11,734	10,874	11,734	11,734	34,342
特定財源	7,773	6,155	7,773	7,773	21,701

第2期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	農地農村環境保全事業	NO.	121
担当所属	農林振興課	関連所属	

【事務事業基本情報】

総合計画	章	5.産業	事業期間	令和5年度 ~ 令和7年度
	施策	1.農林業	会計区分	一般会計
	方向性	(2)農地環境対策の推進	新規事業	
			総合戦略	

【事業内容】

事業内容	農業・農村の有する多面的機能（国土の保全、水源の涵養、自然環境の保全、良好な景観形成等）の維持・発揮を図るため、地域で行う水路の草刈りや泥上げ、農道の維持補修、花の植栽による景観形成等に支援を行い、自然環境の保全及び良好な景観の形成等の地域資源の適切な保全管理を推進します。
------	---

【事業概要】

目的 事業概要 (何のために)	農村集落における後継者の減少・高齢化、非農業者の混住化の進行により、農地や農業用施設などの適正な保全管理が困難となっている。
対象 (誰・何を対象として)	地域一体となって活動を行う保全会による活動組織 その区域内における農業者
手段 (どのようなやり方で)	農業基盤である農地や農道及び農業用排水路などの資源を地域住民や関係団体が一体となり保全していく組織を立ち上げ、その活動を支援する。
成果 (どのような成果を得ようとしているか)	農地周辺の保全活動に加え、農業用施設の決め細やかな手入れや農村の自然や景観を守る共同活動が促進され、地域でのまとまりが強固となる。

【事業計画】

	R5年度	R6年度	R7年度
事業計画	多面的機能支払交付金活動の実施 活動支援金の交付 農地・水保全管理協議会の運営	多面的機能支払交付金活動の実施 活動支援金の交付 農地・水保全管理協議会の運営	多面的機能支払交付金活動の実施 活動支援金の交付 農地・水保全管理協議会の運営

【評価指標】

		名称	単位	現状値	R5年度	R6年度	R7年度	目標値
成果指標	①	農道舗装延長	km	2 (R3)	2.1	2.2	2.3	2.3 (R7)
	②	排水路整備延長	km	0.8 (R3)	1.2	1.6	2.0	2.0 (R7)
	③							
活動指標	①	多面的機能支払事業活動面積	ha	1,077 (R3)	1,077	1,077	1,077	1,077 (R7)
	②							
	③							

【投入コスト】

単位：千円

年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R5～R7年度 合計
事業費	88,512	81,116	81,116	81,116	243,348
一般財源	22,128	20,279	20,279	20,279	60,837
特定財源	66,384	60,837	60,837	60,837	182,511

第2期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	農畜産物の魅力向上事業	NO.	122
担当所属	農林振興課	関連所属	

【事務事業基本情報】

総合計画	章	5. 産業	事業期間	令和5年度 ~ 令和7年度
	施策	1. 農林業	会計区分	一般会計
	方向性	(3) 高付加価値農業の推進	新規事業	
			総合戦略	○

【事業内容】

事業内容	農畜産物の高品質化と消費者の安全・安心へのニーズに対応できるよう、環境にやさしい農畜産物の普及拡大を推進します。また、生産者が自ら加工・販売を行う6次産業化に取り組む農業者へ補助事業等を活用した支援を行うとともに、商業者との連携から市内産農畜産物の活用や販路拡大を促進します。
------	--

【事業概要】

目的 事業概要 (何のために)	農業所得向上と安定を目指し、生産意欲の向上と袖ヶ浦産品の普及を図る。
対象 (誰・何を対象として)	農業者、飲食業者、消費者
手段 (どのようなやり方で)	環境にやさしいエコ農畜産物の普及拡大を推進するとともに、農業者が自ら加工・販売まで行う6次産業化の取り組みや市内農畜産物を活用した農家レストランへの取り組みを支援する。
成果 (どのような成果を得ようとしているか)	農畜産物等の高付加価値化や地産地消の促進により消費を拡大させることにより、農業経営の安定を図る。

【事業計画】

	R5年度	R6年度	R7年度
事業計画	イベント等におけるPR 関係機関と連携し、生産者への技術研修、試験栽培等を実施 6次産業化を支援する制度の紹介、加工品の販売促進 既存レストラン等へ、地元食材の活用を呼び掛け	イベント等におけるPR 関係機関と連携し、生産者への技術研修、試験栽培等を実施 6次産業化を支援する制度の紹介、加工品の販売促進 既存レストラン等へ、地元食材の活用を呼び掛け	イベント等におけるPR 関係機関と連携し、生産者への技術研修、試験栽培等を実施 6次産業化を支援する制度の紹介、加工品の販売促進 既存レストラン等へ、地元食材の活用を呼び掛け

【評価指標】

	名称	単位	現状値	R5年度	R6年度	R7年度	目標値
成果指標	① 「ちばエコ農産物」の認証数	件	32 (R3)	37	42	47	47 (R7)
	② 6次産業化取組支援	件	7 (R3)	8	8	9	9 (R7)
	③						
活動指標	① イベント等でのPR活動	回	6 (R3)	3	3	3	3 (R7)
	② 農業者団体の会議等で事業の紹介	回	1 (R3)	5	5	5	5 (R7)
	③						

【投入コスト】

単位：千円

年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R5~R7年度 合計
事業費	566	766	566	566	1,898
一般財源	566	766	566	566	1,898
特定財源	0	0	0	0	0

第2期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	観光・直売型農業推進事業	NO.	123
担当所属	農林振興課	関連所属	

【事務事業基本情報】

総合計画	章	5.産業	事業期間	令和5年度 ~ 令和7年度
	施策	1.農林業	会計区分	一般会計
	方向性	(4) 農業とふれあう機会の拡大	新規事業	
			総合戦略	○

【事業内容】

事業内容	生産者と消費者の交流を促進するとともに、農畜産物直売所「ゆりの里」を拠点とした食育活動と地産地消を促進します。また、農業の活性化を図るため、生産組織の育成を支援し、計画栽培、出荷による安定経営を支援します。
------	---

【事業概要】

目的 事業概要 (何のために)	生産者と消費者の交流を促進するとともに、農畜産物直売所「ゆりの里」を拠点とした食育活動と地産地消を促進する。また、農業の活性化を図るため、生産組織の育成を支援し、計画栽培、出荷による安定経営を支援する。
対象 (誰・何を対象として)	農業者・消費者（市民・観光客）
手段 (どのようなやり方で)	地産地消推進のため、市内生産の販売を増加し、併せて、学校給食における市内農産物の積極活用。農畜産物直売所「ゆりの里」の隣接地での収穫体験
成果 (どのような成果を得ようとしているか)	地産地消の拡大により農業所得の向上 収穫体験による観光と直売の連携

【事業計画】

	R5年度	R6年度	R7年度
事業計画	収穫体験機会の拡大 地元農産物の販売拡大 観光施設と集客拡大の連携	収穫体験機会の拡大 地元農産物の販売拡大 観光施設と集客拡大の連携	収穫体験機会の拡大 地元農産物の販売拡大 観光施設と集客拡大の連携

【評価指標】

		名称	単位	現状値	R5年度	R6年度	R7年度	目標値
成果指標	①	ゆりの里売上額	百万円	549.1 (R3)	549.6	550.1	550.6	550.6 (R7)
	②	ゆりの里レジ通過者	千人	304.9 (R3)	305.4	305.9	306.4	306.4 (R7)
	③	ゆりの里売上額のうち市内出荷者の売上割合	%	55.5 (R3)	55.7	55.8	55.9	55.9 (R7)
活動指標	①	収穫体験の開催	回	5 (R3)	5	5	5	5 (R7)
	②							
	③							

【投入コスト】

単位：千円

年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R5～R7年度 合計
事業費	639	639	639	639	1,917
一般財源	568	568	568	568	1,704
特定財源	71	71	71	71	213

第2期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	体験農園支援事業	NO.	124
担当所属	農林振興課	関連所属	

【事務事業基本情報】

総合計画	章	5.産業	事業期間	令和5年度 ~ 令和7年度
	施策	1.農林業	会計区分	一般会計
	方向性	(4) 農業とふれあう機会の拡大	新規事業	
			総合戦略	○

【事業内容】

事業内容	体験農園を開設する農業者に対し、利用者募集の支援や補助金の交付により開設支援を行い、体験農園の開設を推進し安定した農業経営を確立するとともに、市民等への農業体験機会の拡大を図ります。
------	---

【事業概要】

目的事業概要 (何のために)	体験農園を開設する農業者に対し支援を行い、体験農園の開設を推進し安定した農業経営を確立するとともに市民等へ農業体験機会の拡大を図る。
対象 (誰・何を対象として)	農業者 収穫体験、農業を希望する市民等
手段 (どのようなやり方で)	体験農園整備やPRに必要となる経費の一部を補助金として交付することで体験農園の拡充を図るとともに、市広報紙やHPで紹介し周知を図る。
成果 (どのような成果を得ようとしているか)	安定した農業経営の確立 観光農園と連携したグリーンツーリズムの推進

【事業計画】

	R5年度	R6年度	R7年度
事業計画	市内の体験農園等の取組みのPR 体験農園開設を希望する農業者の掘起しと支援	市内の体験農園等の取組みのPR 体験農園開設を希望する農業者の掘起しと支援	市内の体験農園等の取組みのPR 体験農園開設を希望する農業者の掘起しと支援

【評価指標】

	名称	単位	現状値	R5年度	R6年度	R7年度	目標値
成果指標	① 体験農園数 (累計)	件	24 (R3)	24	25	25	25 (R7)
	②						
	③						
活動指標	① 市民農園の周知 (広報紙、HP等)	回	1 (R3)	1	1	1	1 (R7)
	② 農業者団体の会議等での事業の紹介	回	1 (R3)	2	2	2	2 (R7)
	③						

【投入コスト】

単位：千円

年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R5~R7年度 合計
事業費	560	340	340	340	1,020
一般財源	560	340	340	340	1,020
特定財源	0	0	0	0	0

第2期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	田園空間施設維持管理事業	NO.	125
担当所属	農林振興課	関連所属	

【事務事業基本情報】

総合計画	章	5.産業	事業期間	令和5年度 ~ 令和7年度
	施策	1.農林業	会計区分	一般会計
	方向性	(4) 農業とふれあう機会の拡大	新規事業	
			総合戦略	

【事業内容】

事業内容	農村・農業の貴重な歴史・文化・伝統技術や農村景観などの農村資源を保全・復元するとともに、農業体験の場を提供する農村公園等田園空間施設の維持管理を行います。
------	---

【事業概要】

目的事業概要 (何のために)	農村・農業の貴重な歴史・文化・伝統技術や農村景観などの農村資源を保全・復元するとともに、農業体験の場を提供する農村公園等田園空間施設の維持管理を行う。
対象 (誰・何を対象として)	市民、市内小学生、市内保育所・幼稚園児、市外からの来園者及び散策路利用者
手段 (どのようなやり方で)	広報で募集した市民や市内小学生、市内保育所・幼稚園児、市外からの来園者らが農業体験を行う。
成果 (どのような成果を得ようとしているか)	都市部住民の農業に対する意識の向上 農業体験機会の確保

【事業計画】

	R5年度	R6年度	R7年度
事業計画	田んぼの学校(公募家族)、田んぼの学校(小学生)6校、収穫体験(幼稚園、保育園、保育所)ほか、各種イベント	田んぼの学校(公募家族)、田んぼの学校(小学生)6校、収穫体験(幼稚園、保育園、保育所)ほか、各種イベント	田んぼの学校(公募家族)、田んぼの学校(小学生)6校、収穫体験(幼稚園、保育園、保育所)ほか、各種イベント

【評価指標】

	名称	単位	現状値	R5年度	R6年度	R7年度	目標値
成果指標	① ひらおかの里農村公園来園者数	人	12,100 (R3)	12,200	12,300	12,400	12,400 (R7)
	②						
	③						
活動指標	① イベント開催回数	回	37 (R3)	37	37	37	37 (R7)
	②						
	③						

【投入コスト】

単位：千円

年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R5~R7年度合計
事業費	13,042	14,152	14,152	14,152	42,456
一般財源	12,597	13,553	13,553	13,553	40,659
特定財源	445	599	599	599	1,797

第2期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	森林経営管理事業	NO.	126
担当所属	農林振興課	関連所属	

【事務事業基本情報】

総合計画	章	5.産業	事業期間	令和5年度 ~ 令和7年度
	施策	1.農林業	会計区分	一般会計
	方向性	(5) 森林管理の適正化と林業の振興	新規事業	
			総合戦略	

【事業内容】

事業内容	経営管理が行われていない森林について、市町村が森林所有者の委託を受け経営管理することや、意欲と能力のある林業経営者に再委託することにより、林業経営の効率化と森林管理の適正化を促進します。
------	---

【事業概要】

目的 事業概要 (何のために)	林業の持続的発展及び森林の有する多面的機能の発揮
対象 (誰・何を対象として)	森林法第2条第3項に規定する民有林
手段 (どのようなやり方で)	森林所有者への意向調査の結果、経営や管理の委託の申出等があった森林については、経営や管理について委託を受ける。経営管理権を取得した森林について、林業経営に適した森林は、経営や管理を林業経営者に再委託、林業経営者に再委託しない森林等は、市町村森林経営管理事業を実施する。
成果 (どのような成果を得ようとしているか)	林業経営の効率化及び森林の管理の適正化の一体的な促進

【事業計画】

	R5年度	R6年度	R7年度
事業計画	意向調査等、森林経営管理実施	意向調査等、森林経営管理実施	意向調査等、森林経営管理実施

【評価指標】

	名称	単位	現状値	R5年度	R6年度	R7年度	目標値
成果指標	① 林業経営者への再委託	ha	0 (R3)	0.0	0.5	1.0	1.0 (R7)
	②						
	③						
活動指標	① 意向調査の実施	ha	181 (R3)	281	481	681	1,870 (R15)
	②						
	③						

【投入コスト】

単位：千円

年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R5～R7年度 合計
事業費	8,435	12,299	12,299	12,299	36,897
一般財源	5,708	7,593	7,593	7,593	22,779
特定財源	2,727	4,706	4,706	4,706	14,118

第2期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	商店街魅力向上事業	NO.	127
担当所属	商工観光課	関連所属	

【事務事業基本情報】

総合計画	章	5.産業	事業期間	令和5年度 ~ 令和7年度
	施策	2.商工業	会計区分	一般会計
	方向性	(1)活力ある商業の推進	新規事業	
			総合戦略	○

【事業内容】

事業内容	商店街の環境整備やイベント等の活動を支援することにより魅力向上を図るとともに、持続可能な商店街づくりを進めま す。
------	--

【事業概要】

目的 事業概要 (何のために)	商店街の環境整備や顧客とのふれあいを目的としたイベントへの支援を行うことで、各個店の魅力向上に努める。
対象 (誰・何を対象 として)	市内各商店街、各個店、市民、顧客
手段 (どのようなや り方で)	商店街運営経費負担軽減を図るため、商店街街路灯の維持管理費や市民との交流イベント等の取組みに対し、補助金交付 による支援を行う。
成果 (どのような成果 を得ようとしてい るか)	商店街の魅力向上につながるとともに、地元購買者が増加し、地域での交流が盛んとなり、賑やかな商店街となる。

【事業計画】

	R5年度	R6年度	R7年度
事業計画	商店街共同施設整備補助金交付 商工会活動の支援（一店逸品事業、地元魅力 発見事業） 商工会が行う市民交流活動への支援 商店街街路灯市移管へ向けた検討・調査	商店街共同施設整備補助金交付 商工会活動の支援（一店逸品事業、地元魅力 発見事業） 商工会が行う市民交流活動への支援 商店街街路灯市移管への実施	商店街共同施設整備補助金交付 商工会活動の支援（一店逸品事業、地元魅力 発見事業） 商工会が行う市民交流活動への支援

【評価指標】

	名称	単位	現状値	R5年度	R6年度	R7年度	目標値
成果指標	① 商店会加盟店舗数	店	108 (R3)	114	114	114	114 (R7)
	② 一店逸品・そでジョブ 集客数（年間）	人	0 (R3)	146	148	150	150 (R7)
	③ 一店逸品・そでジョブ参加 事業者数（年間）	事業者数	16 (R3)	20	21	22	22 (R7)
活動指標	① イベント助成件数（年 間）	回	0 (R3)	4	4	4	4 (R7)
	② イベント実施・参加回 数（年間）	回	0 (R3)	4	4	4	4 (R7)
	③						

【投入コスト】

単位：千円

年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R5～R7年度 合計
事業費	2,034	2,174	2,034	2,034	6,242
一般財源	2,034	2,174	2,034	2,034	6,242
特定財源	0	0	0	0	0

第2期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	企業等振興支援事業	NO.	128
担当所属	商工観光課	関連所属	

【事務事業基本情報】

総合計画	章	5. 産業	事業期間	令和5年度 ~ 令和7年度
	施策	2. 商工業	会計区分	一般会計
	方向性	(2) 力強い工業の推進	新規事業	
			総合戦略	○

【事業内容】

事業内容	企業経営の安定化と事業の高度化、産業の振興、雇用の場の確保を図るため、一定規模以上の設備投資に対して助成を行い、企業の新規立地や設備投資を促進します。 県及び近隣市と連携しながら規制緩和等の側面的支援を行います。
------	---

【事業概要】

目的事業概要 (何のために)	市内に立地している企業の市外流出を防ぐため、設備投資や雇用に対する奨励制度や企業が要望する規制緩和等について検討を行うことで、立地企業の競争力強化に向けた支援を行う。
対象 (誰・何を対象として)	市内の立地企業、市内へ立地を検討している企業
手段 (どのようなやり方で)	県、近隣自治体及び立地企業と連携体制を構築し、京葉臨海コンビナートの競争力強化につながる規制緩和の対応策の検討を進めるとともに、設備投資を促進するため、企業の新規立地及び一定規模以上の設備投資に対し奨励金を交付する。 また、工場連絡会を通じ、市内企業との連携強化や企業ニーズの把握に努める。
成果 (どのような成果を得ようとしているか)	企業の設備投資を促進し、市税収入の安定化と雇用の場の確保を図るとともに、企業が操業しやすい環境を整えることで、激化する国際競争等に勝ち残れるよう競争力強化を高める。

【事業計画】

	R5年度	R6年度	R7年度
事業計画	県及び近隣自治体と連携した側面的支援 企業振興条例及び椎の森工業団地企業立地 促進条例に基づく奨励制度の運用 企業訪問・面談 工場連絡会の運営	県及び近隣自治体と連携した側面的支援 企業振興条例及び椎の森工業団地企業立地 促進条例に基づく奨励制度の運用 企業訪問・面談 工場連絡会の運営 企業振興条例改正 (SDGs関連)	県及び近隣自治体と連携した側面的支援 企業振興条例及び椎の森工業団地企業立地 促進条例に基づく奨励制度の運用 企業訪問・面談 工場連絡会の運営

【評価指標】

	名称	単位	現状値	R5年度	R6年度	R7年度	目標値
成果指標	① 企業振興条例指定件数 (年間)	件	2 (R3)	5	5	5	5 (R7)
	② 椎の森工業団地企業立 地促進条例に基づく奨 励制度の運用	件	5 (R3)	13	—	—	13 (R5)
	③ 企業振興条例成長分野 促進区分指定件数(年	件	0 (R3)	1	0	1	1 (R7)
活動指標	① 県及び近隣市と連携し た競争力強化検討会議	回	2 (R3)	2	2	2	2 (R7)
	②						
	③						

【投入コスト】

単位：千円

年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R5~R7年度 合計
事業費	246,518	188,535	239,863	240,234	668,632
一般財源	246,518	188,535	239,863	240,234	668,632
特定財源	0	0	0	0	0

第2期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	中小企業支援事業	NO.	129
担当所属	商工観光課	関連所属	

【事務事業基本情報】

総合計画	章	5.産業	事業期間	令和5年度 ~ 令和7年度
	施策	2.商工業	会計区分	一般会計
	方向性	(3) 中小企業の支援	新規事業	
			総合戦略	○

【事業内容】

事業内容	人材や資金面など経営資源が弱い中小企業について、融資や利子補給制度により、資金の支援を行うとともに、経営相談等に対応する相談体制を充実し、きめ細かな支援を行います。
------	--

【事業概要】

目的 事業概要 (何のために)	市内に多く存在する中小企業について、経営基盤の確立を図る。
対象 (誰・何を対象として)	市内の中小企業、創業者
手段 (どのようなやり方で)	中小企業に対する運転・設備等の資金に対し融資及び利子補給を行う。 創業者に対する相談窓口の開設、商工会や千葉県信用保証協会と連携したセミナーの開催 また、個店に対し、SNSやECサイトを活用した情報の発信や販路拡大に係る取組の支援を行う。
成果 (どのような成果を得ようとしているか)	中小企業の経営に関する資金的支援や課題解決に向けた支援を行うことで、中小企業の経営の安定化を図る。

【事業計画】

	R5年度	R6年度	R7年度
事業計画	融資及び利子補給制度の運用 市及び商工会による企業訪問、面談 SNS、EC等活用支援制度検討 電子決済対応への勉強会	融資及び利子補給制度の運用 市及び商工会による企業訪問、面談 SNS、EC等活用支援制度及び電子決済の運用	融資及び利子補給制度の運用 市及び商工会による企業訪問、面談 SNS、EC等活用支援制度及び電子決済の運用

【評価指標】

	名称	単位	現状値	R5年度	R6年度	R7年度	目標値
成果指標	① 中小企業融資資金の設備資金貸付件数(年間)	件	7 (R3)	11	12	13	13 (R7)
	② SNS、EC活用支援件数	件	0 (R3)	0	5	10	10 (R7)
	③						
活動指標	① 中小企業融資資金貸付件数(年間)	件	57 (R3)	76	78	80	80 (R7)
	② 中小企業融資資金利子補給件数(年間)	件	298 (R3)	338	340	342	342 (R7)
	③ 制度周知件数	回	2 (R3)	2	2	2	2 (R7)

【投入コスト】

単位：千円

年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R5~R7年度合計
事業費	223,790	225,644	224,290	224,790	674,724
一般財源	23,790	25,644	24,290	24,790	74,724
特定財源	200,000	200,000	200,000	200,000	600,000

第2期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	袖ヶ浦市観光協会活動支援事業	NO.	130
担当所属	商工観光課	関連所属	

【事務事業基本情報】

総合計画	章	5.産業	事業期間	令和5年度 ~ 令和7年度
	施策	3.観光	会計区分	一般会計
	方向性	(1)観光振興に向けた体制づくり	新規事業	
			総合戦略	○

【事業内容】

事業内容	袖ヶ浦市及び周辺地域の豊かな自然、文化等の観光資源を活用し、観光地としての魅力を高め、観光事業の健全な振興を図ることにより、地域経済の活性化、地域文化の維持発展に寄与することを目的に事業を展開する（一社）袖ヶ浦市観光協会の運営を支援します。
------	--

【事業概要】

目的 事業概要 (何のために)	当市における観光事業の健全な振興の推進を図るため、観光協会の運営を支援する。
対象 (誰・何を対象として)	(一社) 袖ヶ浦市観光協会
手段 (どのようなやり方で)	地域の特色を生かした魅力ある観光地づくりの推進を図るため、観光協会に対し、補助金を交付し、運営を支援する。
成果 (どのような成果を得ようとしているか)	観光協会に対し、財政的支援などを行うことにより、魅力あふれる地域づくりを推進するとともに、効果的な情報発信を行うことにより、観光振興を通じて地域の活性化、観光イメージの構築、交流人口の増加を図っていく。

【事業計画】

	R5年度	R6年度	R7年度
事業計画	観光協会への補助金の交付 観光協会運営支援 観光協会事業活動の周知	観光協会への補助金の交付 観光協会運営支援 観光協会事業活動の周知	観光協会への補助金の交付 観光協会運営支援 観光協会事業活動の周知

【評価指標】

	名称	単位	現状値	R5年度	R6年度	R7年度	目標値
成果指標	① 市及び観光協会との共同イベントの参加人数	人	1,000 (R3)	10,100	10,200	10,300	10,300 (R7)
	② 観光協会会員数	人	151 (R3)	153	155	157	157 (R7)
	③						
活動指標	① 市及び観光協会との共同イベントの実施	回数	1 (R3)	3	3	3	3 (R7)
	② 観光協会会員研修の実施	回数	0 (R3)	1	1	1	1 (R7)
	③						

【投入コスト】

単位：千円

年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R5～R7年度 合計
事業費	7,969	4,596	8,706	8,706	22,008
一般財源	7,969	4,596	8,706	8,706	22,008
特定財源	0	0	0	0	0

第2期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	地域回遊促進事業	NO.	131
担当所属	商工観光課	関連所属	

【事務事業基本情報】

総合計画	章	5.産業	事業期間	令和5年度 ~ 令和7年度
	施策	3.観光	会計区分	一般会計
	方向性	(2)観光地としての魅力づくり	新規事業	
			総合戦略	○

【事業内容】

事業内容	観光客の市内回遊を促進するため、主要拠点から観光施設までの移動手段の拡充による利便性の向上、新たな観光資源の発掘等により、来訪者の増加と観光地としての魅力を向上させます。
------	---

【事業概要】

目的事業概要 (何のために)	公共交通利用による市外からの観光客の受入れ拠点となる、駅やバスターミナルから市内観光施設への移動手段を確保することで、地域回遊が促進され、誘客につながる。
対象 (誰・何を対象として)	公共交通機関を利用した観光客 市内観光施設、商業施設
手段 (どのようなやり方で)	市内の主要拠点からの移動手段として、レンタサイクルやレンタカーを活用した、周遊プランを検討する。
成果 (どのような成果を得ようとしているか)	市内の主要拠点から観光施設までの移動の利便性を向上や、新たな観光資源の発掘により、交流人口の増加につながるとともに、地域経済の活性化が図れる。

【事業計画】

	R5年度	R6年度	R7年度
事業計画	観光協会と連携した情報の発信 以下、観光協会実施事業 (レンタサイクルの運営、新たな拠点開設 検討、レンタサイクルを活用した周遊企画 の実施、サイクルツーリズムの推進施策の 検討)	観光協会と連携した情報の発信 以下、観光協会実施事業 (レンタサイクルの運営、新規拠点開設、 レンタサイクルを活用した周遊企画の実 施、レンタカーを活用した周遊企画の検 討、サイクルツーリズムの推進施策の検 討)	観光協会と連携した情報の発信 以下、観光協会実施事業 (レンタサイクルの運営、新たな拠点開設 検討、レンタサイクルを活用した周遊企画 の実施、レンタカーを活用した周遊企画の 検討、サイクルツーリズムの推進施策の検 討)

【評価指標】

		名称	単位	現状値	R5年度	R6年度	R7年度	目標値
成果指標	①	レンタサイクル貸出拠点数	箇所	1 (R3)	1	2	2	2 (R7)
	②	レンタサイクル貸出回数	台	188 (R3)	250	280	300	300 (R7)
	③							
活動指標	①	市内周遊イベントの実施	回	0 (R3)	2	2	3	3 (R7)
	②							
	③							

【投入コスト】

単位：千円

年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R5~R7年度 合計
事業費	1,760	652	4,000	2,900	7,552
一般財源	1,760	652	4,000	2,900	7,552
特定財源	0	0	0	0	0

第2期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	観光情報発信事業	NO.	132
担当所属	商工観光課	関連所属	

【事務事業基本情報】

総合計画	章	5.産業	事業期間	令和5年度 ~ 令和7年度
	施策	3.観光	会計区分	一般会計
	方向性	(3)観光情報の発信・充実	新規事業	
			総合戦略	○

【事業内容】

事業内容	本市観光の魅力を発信するため、観光協会によるホームページやSNSを活用した情報発信の充実を図ります。また、商業施設やイベント等において、観光PRを行い、観光情報を含めた本市の魅力在市内外へ発信していきます。
------	---

【事業概要】

目的 事業概要 (何のために)	観光協会で開設しているホームページ、フェイスブック、インスタグラム等を活用して、本市の観光情報を広く発信する。また、対面による観光PRを行うことで、SNSだけでは伝えきれない魅力を提供していく。
対象 (誰・何を対象として)	国内外から来訪する観光客、市民、来訪者
手段 (どのようなやり方で)	観光協会によるホームページ、フェイスブック、インスタグラム等を活用した情報発信、観光ガイドマップの作成、配布、商業施設やイベント等における観光PRの実施。バーチャル観光ツアー実施による本市観光の情報発信。
成果 (どのような成果を得ようとしているか)	様々な手法による観光情報の発信により、それを閲覧した方が本市を訪れてくれる。また、本市知名度の向上につながる。

【事業計画】

	R5年度	R6年度	R7年度
事業計画	観光協会と連携した観光情報の発信	観光協会と連携した観光情報の発信	観光協会と連携した観光情報の発信

【評価指標】

	名称	単位	現状値	R5年度	R6年度	R7年度	目標値
成果指標	① 観光協会SNSアクセス数	件	149,147 (R3)	152,000	155,000	160,000	160,000 (R7)
	② 年間観光入込客数	万人	147.7 (R3)	152	160	165	165 (R7)
	③						
活動指標	① 観光PR実施回数	回	3 (R3)	6	7	8	8 (R7)
	② 観光ガイドマップリニューアル更新	回	1 (R3)	-	1	-	1 (R6)
	③						

【投入コスト】

単位：千円

年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R5~R7年度 合計
事業費	2,744	1,695	5,500	2,500	9,695
一般財源	2,744	1,695	5,500	2,500	9,695
特定財源	0	0	0	0	0

第2期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	雇用促進事業	NO.	133
担当所属	商工観光課	関連所属	

【事務事業基本情報】

総合計画	章	5.産業	事業期間	令和5年度 ~ 令和7年度
	施策	4.雇用・就業	会計区分	一般会計
	方向性	(1)雇用の促進	新規事業	
			総合戦略	○

【事業内容】

事業内容	市内企業の雇用機会を確保するため、合同就職説明会や合同会社見学会を開催し、市内企業と就職希望者とのマッチングを図ります。 また、人手不足への対策として、外国人労働力の活用を検討していくため、市内企業に対し外国人労働者の受け入れ意向を確認するとともに、外国人の雇用に関するノウハウ等の情報提供を行います。
------	--

【事業概要】

目的 事業概要 (何のために)	市内企業の雇用機会の確保を図る。
対象 (誰・何を対象として)	雇用計画のある市内企業・事業所 市内企業・事業所への求職者
手段 (どのようなやり方で)	市内企業の人材確保を図ることを目的として、合同会社説明会、会社見学会を開催するとともに、企業が自主的に行う就職面接会について、開催周知や会場確保等について支援を行う。さらに、外国人労働力の活用意向について、市内企業に対しアンケート調査を行うとともに、外国人の雇用に関する情報提供を行う。
成果 (どのような成果を得ようとしているか)	市内企業の労働力確保

【事業計画】

	R5年度	R6年度	R7年度
事業計画	新卒者を対象とした合同会社説明会、見学会の開催 一般向け合同会社面接会の開催 外国人労働者に関する情報提供 ITを活用した企業の説明会等の検討	新卒者を対象とした合同会社説明会、見学会の開催 一般向け合同会社面接会の開催 外国人労働者に関する情報提供及び企業の意向調査 ITを活用した企業の説明会等の実施	新卒者を対象とした合同会社説明会、見学会の開催 一般向け合同会社面接会の開催 外国人労働者に関する情報提供 ITを活用した企業の説明会等の検討

【評価指標】

	名称	単位	現状値	R5年度	R6年度	R7年度	目標値
成果指標	① 就労マッチングへの参加人数	人	0 (R3)	115	120	125	125 (R7)
	②						
	③						
活動指標	① 就労マッチング実施回数	回	0 (R3)	10	11	12	12 (R7)
	②						
	③						

【投入コスト】

単位：千円

年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R5～R7年度 合計
事業費	26	22	46	26	94
一般財源	26	22	46	26	94
特定財源	0	0	0	0	0

第2期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	就労支援事業	NO.	134
担当所属	商工観光課	関連所属	

【事務事業基本情報】

総合計画	章	5.産業	事業期間	令和5年度 ~ 令和7年度
	施策	4.雇用・就業	会計区分	一般会計
	方向性	(2)就業機会の拡大	新規事業	
			総合戦略	○

【事業内容】

事業内容	ハローワーク、ジョブカフェちば、千葉県ジョブサポートセンター等と連携して、求職者の就職に向けたセミナーを開催し、多様な世代の方が希望する形で就労できるよう支援を行います。
------	---

【事業概要】

目的 事業概要 (何のために)	雇用関連情報の発信を行うとともに、求職者のスキルアップを図ることで、就業機会の拡充を図る。
対象 (誰・何を対象として)	就職希望者
手段 (どのようなやり方で)	ハローワークやジョブカフェ、ジョブサポ等の関係機関と連携しながら、女性や各世代に応じた職業相談、職業紹介などの情報提供やセミナー開催による就業支援を行う。
成果 (どのような成果を得ようとしているか)	市民（未就業者等）の就労の場を確保する。

【事業計画】

	R5年度	R6年度	R7年度
事業計画	関係機関と連携した、若者向け就労支援セミナー、女性向け就労支援セミナー、シニア向け再就職セミナー、ニート引きこもり等の職業的自立相談会の開催 ハローワーク求人情報の提供	関係機関と連携した、若者向け就労支援セミナー、女性向け就労支援セミナー、シニア向け再就職セミナー、ニート引きこもり等の職業的自立相談会の開催 ハローワーク求人情報の提供	関係機関と連携した、若者向け就労支援セミナー、女性向け就労支援セミナー、シニア向け再就職セミナー、ニート引きこもり等の職業的自立相談会の開催 ハローワーク求人情報の提供

【評価指標】

	名称	単位	現状値	R5年度	R6年度	R7年度	目標値
成果指標	① 就労支援セミナー・相談会参加者数	人	16 (R3)	21	22	23	23 (R7)
	②						
	③						
活動指標	① 就労支援セミナー等の開催数	回	8 (R3)	8	8	8	8 (R7)
	②						
	③						

【投入コスト】

単位：千円

年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R5～R7年度 合計
事業費	4	4	4	4	12
一般財源	4	4	4	4	12
特定財源	0	0	0	0	0

第2期実施計画 事務事業評価 事前評価シート

事務事業名	コワーキングスペース開設支援事業	NO.	135
担当所属	商工観光課	関連所属	

【事務事業基本情報】

総合計画	章	5.産業	事業期間	令和5年度 ~ 令和7年度
	施策	4.雇用・就業	会計区分	一般会計
	方向性	(3)就労環境の向上	新規事業	○
			総合戦略	

【事業内容】

事業内容	コロナ禍を契機とした働き方の変化に対応し、テレワークや副業等の時代に応じた働く場所を整備することで、市内における起業拠点を創出することを目的として、起業者等を対象としたコワーキングスペースの開設を支援します。また、開設されたコワーキングスペースを活用し、起業者と地域の交流拠点となるような取組みを展開します。
------	--

【事業概要】

目的事業概要 (何のために)	時代に対応した働く場所を供給することで、市内での職住近接の推進、市外からの移住促進、企業誘致を図る。また、遊休不動産の活用にもつながる。
対象 (誰・何を対象として)	市内外の起業者、中小企業
手段 (どのようなやり方で)	起業者等を対象としたコワーキングスペースを新たに開設する事業者等に経費の一部を補助する。
成果 (どのような成果を得ようとしているか)	市内における職住近接を可能とし、さらに市内での創業・雇用・移住促進を図る。空き家、空き店舗等の遊休不動産の解消につながる。

【事業計画】

	R5年度	R6年度	R7年度
事業計画	補助要綱策定 事業説明会・周知 事業者申請受付	事業説明会・周知 事業者申請受付 開設個所運営状況確認 地域交流の取組み実施	事業説明会・周知 事業者申請受付 開設個所運営状況確認 地域交流の取組み実施

【評価指標】

	名称	単位	現状値	R5年度	R6年度	R7年度	目標値
成果指標	① コワーキングスペース開設数【累積】	件	1 (R3)	2	2	3	3 (R7)
	② コワーキングスペース入居事業者数(法人、個人)	社	16 (R3)	26	26	36	36 (R7)
	③						
活動指標	① 支援制度周知回数	回	0 (R3)	2	2	2	2 (R7)
	② 創業塾開催回数	回	1 (R3)	1	1	1	1 (R7)
	③						

【投入コスト】

単位：千円

年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R5~R7年度合計
事業費	0	2,021	0	3,500	5,521
一般財源	0	2,021	0	3,500	5,521
特定財源	0	0	0	0	0